

作成日： 2009年8月20日
改訂日： 2022年3月22日

安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

化学品の名称 ノンジルコネット
 製品コード N-002
 供給者の会社名称 株式会社 豊 運
 住所 大阪市東住吉区今川 3-12-4
 担当部門 技術本部
 電話番号 0494-62-5545
 FAX番号 0494-62-5535
 緊急時の連絡先 (東日本) 0247-54-3232、(西日本) 06-6708-8131
 推奨用途 クラック防止用メッシュ

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類
 健康に対する有害性 該当しない
 特定の危険有害性 該当しない
 人の健康に対する有害な影響 該当しない

(注) 上記で記載がない危険有害性は区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素
 絵表示又はシンボル なし
 注意喚起語 なし
 ガラス繊維製品は、労働安全衛生法上の名称を通知すべき有害物に含まれません

注意書き
【安全対策】 ガラス繊維に触れると皮膚、眼、喉や鼻などに一時的にかゆみや痛みを引き起こすことがあります。安全の為、保護手袋、保護眼鏡及び防塵マスクを着用して下さい。取扱後は、せっけんを用いて温水で洗い、うがいを励行して下さい。かゆみや痛みが続くときは医師の診察を受けて下さい。
【応急処置】 項目4. 応急措置を参照
【保管】 保管の際は水濡れを避けて保管して下さい。また直射日光が当たる場所、高温が予測される締め切った空間での放置は避けて下さい。
【廃棄】 内容物/容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分： 集束剤及び結合剤を含む単一製品
 化学名又は一般名： グラスファイバー

化学名又は一般名	濃度または濃度範囲	官報公示整理番号		CAS No.
		化審法	安衛法	
グラスファイバー	80~90%	1-548	既存	65997 - 17 - 3 (*1)
有機コーティング(XSBRL)	10~20%	-	-	-

*1 グラスファイバー成分中の主成分、1-548 : SiO₂として。
 ・ 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（化学物質排出把握管理促進法）の第1種指定化学物質及び第2種指定化学物質には該当しない。
 ・ 化学物質等の危険有害性等の表示に関する指針別表の分類基準に該当しない。
 ※アスベストに類する物質は含まない。

4. 応急措置

吸入した場合：
 清浄な水で10回程度うがいをして下さい。また鼻を軽くかんで下さい。
 もし鼻や喉にかゆみや痛みなどの異常が残るようであれば医師の診断を受けて下さい。
皮膚(又は髪)に付着した場合
 絶対にこすらないで下さい。最初、流水で洗い、次いで温水を石鹸で洗って下さい。
 入浴はガラス繊維を除去するのに効果があります。
眼に入った場合：
 速やかに清浄な水で最低15分間洗顔した後、痛みが残った場合、医療処置を受ける。
飲み込んだ場合：
 水でよく口の中を洗浄した後、医療処置を受ける。

5. 火災時の処置

適切な消火剤： 水、炭酸ガス、泡、ドライケミカル、粉末消火剤
 使ってはならない消火剤： 情報なし。
 火災時の特有の危険有害性： ガラス繊維は可燃物ではないが、繊維上の集束材、表面処理剤は一般に可燃性である。
 燃焼ガスには二酸化炭素、一酸化炭素などのガスが含まれるので、消火作業の際には、煙を吸入しないようにすること。
 特有の消火方法： 消火作業は風上からお行うこと。
 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置： 適切な保護具（耐熱性衣類など）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び注意事項：
 回収作業には保護手袋、保護長靴、保護メガネなど適切な保護具を着用する。
環境に対する注意事項：
 特になし。
封じ込め及び浄化の方法及び機材：
 毛羽状、綿状になったガラス繊維が床面などにこぼれた場合は速やかに粉じんが飛散しないように静かに清掃し、空容器や袋等に詰めて一般的な産業廃棄物と同等の扱いをして下さい。

7. 取扱い及び保管状の注意

取り扱い
技術的対策、安全取り扱い注意事項：
 目、皮膚及び衣類に触れないように適切な保護具を着用する。
 常温では、引火の恐れはないが、作業場は安易に火気を使用しない。
 荷崩れ防止や落下防止等一般的な製品取り扱い上の注意をする。
接触回避：
 酸及びアルカリとの接触を避けること。
保管：
 安全な保管条件
 保管場所においては安易に火気を使用しない。
 直射日光、水漏れ、急激な温度変化等は避ける。

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度等
管理濃度： 3.0mg/m³（粉じん障害防止規則）
許容濃度：
 日本衛生産業学会： 2mg/m³（吸入性粉じん）
 8mg/m³（総粉じん）
 ACGIH： 5mg/m³（TWA）
 1fiber/cm³（TWA）
設備対策：
 室内で取り扱う場合は、局所排気装置又は全体換気装置を設置する。
 取り扱い場所の近くに安全シャワー、洗眼、水洗い設備を設け、その位置を明確に表示する。
保護具
 呼吸器用保護具： 防毒マスク
 手の保護具： 不浸透性保護手袋
 目の保護具： 保護眼鏡（普通眼鏡型・側板付き普通眼鏡型・ゴーグル型）
 皮膚及び身体の保護具： 保護長靴・保護衣
 保護具は場所を定めて保管し、清潔なものを使用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态
 形状： ガラス繊維集合体
 色： 白色
 臭い： 僅かに炭化水素臭あり
 融点／凝固点： 840℃
 沸点又は初留点及び沸点範囲： データなし
 可燃性： データなし
 爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界： データなし
 引火点： データなし
 自然発火点： データなし
 分解温度： データなし
 pH： 特性なし。
 動粘性率： データなし
 溶解度： 水に不溶
 n-オクタノール／水分配係数 データなし

蒸気圧：	データなし
密度及び／又は相対密度：	データなし
相対ガス密度：	データなし
粒子特性：	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性：	通常の条件では危険な反応は起こらない。
化学的安定性：	一般的な貯蔵・取り扱いにおいて安定である。
危険有害反応可能性：	現在のところ知見なし。
避けるべき条件：	直射日光、高湿度
混触危険物質：	情報なし。
危険有害な分解生成物：	情報なし。

11. 有害性情報

製品の有害性情報

急性毒性：	分類できない。
皮膚腐食性／刺激性：	燃焼した場合に眼、鼻、喉、皮膚を刺激するガスが発生する可能性がある。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：	データなし。
呼吸器感作性、皮膚感作性：	データなし。
生殖細胞変異原性：	データなし。
発がん性：	IARCの発がん性区分で「区分3」に評価。 人に対する吸入性繊維の定義に合致せず、肺内にまで吸入されない上、発がんを示すデータなし。
生殖毒性：	データなし。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)：	データなし。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)：	データなし。
誤えん有害性：	データなし。
水生環境有害性 短期(急性)：	データなし。
水生環境有害性 長期(慢性)：	データなし。

12. 環境影響情報

生態毒性：	データなし。
残留性・分解性：	データなし。
生態蓄積性：	データなし。
土壌中の移動性：	データなし。
オゾン層への有害性：	データなし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：	廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき廃棄する。洗浄水などの廃水は、水質汚濁防止法などの関連諸法令に適合するように十分留意しなければならない。産業廃棄物管理表(マニフェスト)を交付して委託し、関係法令を遵守して適正に処理する。
汚染容器及び包装：	内容物を完全に除去した後に産業廃棄物として処分する。 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。

14. 輸送上の注意

運搬に際しては、取扱に注意し、直射日光を避け、転倒、落下、損傷の無い様に積み込み、荷崩れの防止を完全に行う。
水濡れに注意すること。

15. 適用法令

- ・ 労働安全衛生法(粉じん障害防止規則)
- ・ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律
- ・ 化学物質排出把握管理促進法 : 該当しない
- ・ 毒物及び劇物取締法 : 該当しない
- ・ 海洋汚染防止法 : 該当しない
- ・ 消防法 : 該当しない

16. その他の情報

本データシートは JIS Z 7253:2019[GHS]に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示および安全データシート(SDS)]に準じて作成しており、製品の安全な取扱いを確保するための「参考情報」として、現時点で当社の有する情報を取扱事業者にご提供するものです。記載内容は、現時点で入手できた資料・情報・データなどに基づいて作成したものであり、新しい知見によって改訂されることがあります。本データシートは必ずしも製品の安全性を保証するものではなく、当社が知見を有さない危険性、有害性を持つ可能性があります。取扱事業者は本データシートを参考として個々の取扱い、用途・用法などの実態に応じた安全対策を実施のうえ、お取り扱いください。